

# 関市立関商工高等学校

校長 正村 達裕

学校住所 岐阜県関市桐ヶ丘一丁目1番地 電話 0575-22-4221

## 1 会の名称 第2回学校評議員会及び学校関係者評価委員会

2 会の構成	学校評議員	丹羽 章	「中部学院大学」事務局長
		鈴木 恵介	「社団法人関青年会議所」前理事長(欠席)
		山田多美子	「国際ソロプチミスト関」前会長(欠席)
		石原 妙生	「有限会社 河合建築設計事務所」 代表取締役(欠席)
		沼田 明仁	「四季ノ台」自治会長
	学校側	正村 達裕	校長
		谷口 正明	副校長
		坂口 和憲	事務長
		錦見 喜朗	教頭(全日制)
		林 辰郎	教頭(定時制)
		伊藤 貴之	P T A副会長(P T A代表)
		曾貝 隆之	教務主任(全日制 工業科)
		棚橋 英一	教務主任(全日制 商業科)
		服部 幹和	生徒指導主事(商業科)
		高橋 弘二	生徒指導主事(定時制)
		所 剛	進路指導主事(工業科)
		酒井 健志	商業科主任
		牛丸 憲一	工業科主任

## 3 会の目的 地域住民等から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会の開催	日時	平成31年1月23日(水) 午後1時30分～午後3時15分
	場所	関商工高等学校 至誠館2階
	参加者	学校評議員2名、P T A副会長1名、学校職員12名が出席

- ## 5 会の概要
- 第一部(午後1時30分～午後2時15分)
- (1) 学校長挨拶
  - (2) 工業科の授業参観(機械科、電子機械科、建設工学科の実習)
  - (3) 第1回関商工高等学校海外研修報告(研修先: シンガポール)
  - (4) 授業等についてのご感想・ご意見
- 第二部(午後2時20分～午後3時15分)
- (1) 学校の近況報告と各分掌の自己評価についての説明
  - (2) ご意見・ご提言
    - ① 教育方針・教育活動について
    - ② その他

## 6 授業参観（工業科）、第1回関商工高等学校海外研修についてのご感想・ご意見

意見1 海外研修に関しては、参加生徒がとても良い顔をしていて、とても良い研修だと思った。第1回ということで、どのように参加者を決められたか教えていただきたい。

学校側 海外研修参加希望生徒を商業科・工業科から募集し、決定した。

意見2 今回、地域の代表者として参加している。外部から見る機会はあるが、学校内でのどのような教育が行われているか分からなかったが、今回学校の様子を知ることができ良かった。機械科1年生の旋盤実習では、会社を退職された方が指導されている姿を見て、社会との繋がりが非常に良いと感じた。建設工学科2年生のCAD実習ではとても高度な内容で驚いた。パソコン等使用する実習室では空調設備も整っており、環境の良さを感じた。海外研修では、研修先でしっかり勉強し、その後まとめ（報告会）を行うなど順序立ててあり、コミュニケーション能力を身に付けるにはとても良いと感じた。地元の者として関商工は関市の誇りと感じている。

意見3 生徒の挨拶がとても気持ち良い。今回実習を見学し、30～40人で勉強していると思っていたが、実際は10人前後であった。実習はどのように展開しているか教えていただきたい。また、シンガポールの研修内容を聞き、内容がとても素晴らしく、私の子供にも参加させたかったと感じた。

学校側 1クラス40人のクラスを10人ずつの4パートに分け、1年間で4つの異なる実習内容をきめ細かく展開している。

## 7 本校職員による平成30年度自己評価の説明（担当部署からの改善点など）

学校側 学校経営について

保護者からのアンケートでは、施設・設備の評価が低いので、今年度と来年度でエアコンの設置を進めている。また、昨年度から始まった関商工カンパニーでは充実した活動ができ、地域との連携も深まったと感じている。生徒に関しては基本的な生活習慣を身に付けさせること、授業への取組姿勢、資格取得・部活動への積極的な参加など指導することができた。また、本校独自のR-time、進学クラス、進学グループに関してきめ細かな指導を行うことができた。今後の課題として、様々な課題に対して主体的な態度で取り組み、周囲と連携協力して解決に向かう力の育成をさらに推進していきたい。また、教職員に対しても、働き方改革を進めていきたい。

学校側 教務について

後期の行事は計画通り実施することができた。本校では、3年生での授業が充実したものとなるよう、1年生から基礎学力の定着に力を入れている。そして本校独自の朝学習であるR-timeを授業に組み込むことで生徒の意識も高まり、基礎学力の定着につながった。また、生徒・保護者アンケートからも学習と部活動の両立ができたとの意見が多く、生徒も自信を持って学校生活を送っている。また、就職先の会社からも学力について良い評価をいただいている。来年度もR-timeを更に充実させ、一日一日を大切にしながら継続的な指導を行いたい。

学校側 生徒指導について

情報モラル研修、交通安全教室、薬物乱用防止講演会、人権講話等計画通り実施し、成果をあげることができた。本校生徒は外部からも挨拶、マナー、身だしなみが良いという評価を受け、県内でも優秀だと思っている。ただ、最近は多様な生徒が入学してくる。常に生徒の様子を把握やきめ細かな指導に心掛けたい。そのためにはカウンセラー等の外部の力を借りたり、保護者との連携を密にしたりするなど、早め早めの丁寧な対応に心掛けたい。来年度も、いじめ、情報モラル、人権、交通事故対策等に積極的に取り組んでいきたい。

#### 学校側 進路指導について

進路指導部として、就職希望生徒には講習会、事業所見学、企業見学等積極的に開催した。また、保護者にも地域の会社を知ってもらうため、保護者対象のセミナーも開催した。進学者クラス（商業科）、進学グループ（工業科）に対しては補習や模試など取り組むことができた。今後は地元企業の良さを知ってもらうため、生徒だけでなく保護者に対しても早めの情報提供に心掛けたい。また、入試改革も進んでいることから、本校の生徒に合った取り組みをを実施していきたい。そして、生徒達が希望の進路選択できるよう受け身でなく自分たちで考え取り組んでいけるような指導をしたい。

#### 学校側 商業専門部について

総合コース、会計コース、情報コースの取組では地域社会との連携に重点を置き、商品開発、ホームページの作成等積極的に取り組むことができた。また、校内では関商工シティーでの販売実習、関商工カンパニーでのキャラクターの提案など充実した活動ができた。また、富加町での商品販売等、地元地域を越えた取組にも参加できた。このような背景を元に、地域に貢献する生徒を育てていきたい。また、さらに今後の活動を良いものとするため、教員の配置、若い教員への指導、チーム商業として取組に力を入れたい。

#### 学校側 工業専門部について

機械科・電子機械科・建設工学科の各科とも、「もの作りコンテスト岐阜県大会」において、優秀な成績を収めることができた。また、地域の学校（特別支援学校等）と連携してものづくりに取り組むことができた。わくわくものづくり広場では、小学生を対象にもものづくりの楽しさを伝えることができた。授業においては各科、地域の各学校と連携し、高度な学習に取り組むことができた。今後も、関市・地域の学校・地域社会と連携して色々な体験をすることで、生徒の力を伸ばしていきたい。また、来年度は本校アピールの場である、サテライトキャンパスに力を入れていきたい。

#### 学校側 定時制について

家庭問題など抱えた生徒がいるが、現在は全体的に落ち着いている。進路は、全員が正社員を目指してはいないので、個々に合ったきめ細かい指導に心掛けたい。また、学校生活では、生徒にコミュニケーション能力を身に付けさせ、学校に参加しているという気持ちを強く持たせ、自己肯定感を持たせたい。部活動では、定通の全国大会に出場する生徒もおり、教職員の自信となっている。現在、どの生徒も良い顔をしている。生徒が毎日登校でき、社会人としての資質が身に付く指導をしていきたい。生徒・保護者アンケートにおいても良い評価をいただき、地域からも期待されている必要な学校だと感じている。今後も教育活動にしっかり取り組んでいきたい。

## 8 本校教育についてのご意見・ご提言

- 意見1 地域と連携した商品開発など大変興味深かった。しかし、その商品などが関市民や保護者に余り知られていない気がする。せっかく素晴らしい活動をしておられるので、もっと校外に伝わる工夫をしていただきたい。
- 意見2 この周辺に住んでいる者として、20時～21時に帰宅する生徒を見かけることがある。特に女子生徒についてはとても心配である。現在、地域でも防犯・安全・安心について議論することが多い。貴校でも注意をしていただきたいことと、地域で協力できることがあれば協力したいと考えている。どんなことでもご相談いただければと考えている。
- 意見3 生徒・保護者アンケートをによると貴校の生徒指導関係の評価はとても良く、このまま継続していただきたい。しかし、この結果の裏には生徒への厳しい指導があると思う。前回の会でもお話をさせていただいたが、褒めることにより生徒の力を伸ばす指導も大切に、自己肯定感を高めていただきたい。また、商業科・工業科が協力して地域社会や他の学校との連携をしていることはとても良いことだと思う。この地域は大学、特別支援学校、小中学校など存在する特殊な地域である。この利点を生かし、文化祭だけでなく部活動や授業等更に連携を深めていただきたい。最後に「褒め育てる」指導を忘れず、生徒に自己肯定感を持たせて卒業させて欲しい。

## 9 まとめ

本日は、本校の教育について学校評議員の方々から貴重なご意見・ご提言をいただきました。来年度の教育活動に生かし、保護者の方や地域の方の信頼に応える学校づくりに努めたいと思います。今後ともご指導・ご助言をいただけますようお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。